

# さらなる交流を誓い・・・ 矢吹町・三鷹市姉妹町市 交流40周年記念式典



式典で式辞を述べる野崎町長

昭和39年に姉妹都市締結を結んだ三鷹市と矢吹町の交流40周年記念式典が8月28日、町文化センターで行われ、三鷹市からは清原市長、金井市議会議長、矢吹町からは野崎町長、根本議長など、多数の関係者が出席して盛大に開催されました。

式では、両町市の各団体交流の様子をスライドショーで紹介したあと、野崎町長が式辞を述べ、来賓を代表して根本議長と清原市長にあいさつをいただきました。

式典後には、「三鷹市管弦楽団」のみなさんによる記念演奏会が行われ、「となりのトトロ」や「ポレロ」など、バラエティーに富んだ4曲が披露されました。会場では、矢吹中学校の全生徒をはじめ、多くのみなさんが本格的な演奏に聞き入っていました。

なお、演奏会終了後には、役場前で記念植樹も行われ、両町市の発展とさらなる交流を祈願しました。



式典を飾った「三鷹市管弦楽団」の記念コンサート。  
矢吹町での公演は今回で11回目を数えます



八重桜を役場庁舎前に記念植樹した金井三鷹市議会議長、清原三鷹市長、野崎町長、根本議長（左から）

両町市が姉妹都市締結した昭和39年は「東京オリンピック」が開催された年。この年から交流が始まって、早や40年。現在もさまざまな分野で交流が続けられています。

## ●矢吹中学校改築事業 設計者が決定しました。

矢吹中学校改築事業の設計者選定のための公開ヒアリングが8月23日、町民のみなさんなど約90人が傍聴するなか、町文化センター小ホールで行われました。ヒアリングでは、昨年12月に開催した「矢吹中学校基本構想説明会」で住民投票によって選ばれた3業者が、スライドなどを用いて15分間ずつ基本構想等を説明。

野崎町長から委嘱を受けた7名の選定委員が、各方面から質疑を行いました。終了後には選定委員会による審査が行われ、審査結果は9月1日に野崎町長へ報告されました。



公開ヒアリングの様子

町では、この報告をふまえて、総合的に勘案して次の設計者を基本設計業務の委託予定者として決定し、9月2日に公表しました。

### ●設計者

株式会社 ユニゾン  
代表取締役 国島賢  
矢吹町東郷477-5

### ●選定理由

「本事業を進めていく上で大切な学校づくりで重視すべきこと等を提案し、それを地域協働の力で積極的に

### ●今後の事業の流れ

発表した基本構想をもとに、町民のみなさんの要望なども取り入れながら、平成17～18年度に基本設計、平成18～19年度に実施設計を作成する予定です。その後、国庫補助事業申請等を経て、平成20年度以降の工事着工を目標としています。

### ※問い合わせ先

学校教育課義務教育係  
☎ (41) 4400

解決していることとする姿勢等が高く評価されたことなどによる。(略) 選定設計者においては提案のあった地域設計者の協働体制を速やかに整えられることを要望する。 (町長への報告書中、「選定理由」文抜粋)

●業務概要  
各施設の配置や整備順序などを含めた建設基本設計と関係図書作成。設計対象は、校舎、屋内運動場、プール、部室、駐輪場、グラウンドなど。

## 私のひと言

### 「災害への備え」

世界各地で今年も異常気象による自然災害、地震災害が相次ぎ、甚大な被害をもたらしている。

最近では、台風14号、ハリケーン「カトリーナ」による大きな被害が発生し、さらに、8月の宮城県沖地震など、最近の日本や世界での自然災害は異常と言わざるを得ない。

地球の温暖化、過密する都市構造、住宅建設地等、様々な原因が考えられるが、かつて私たちが経験したこともなく、また想像を絶する規模の危機が、私たちの暮らしをおびやかしつつあることを意識しなければならないだろう。

それにしても被害のニュースを見聞きするたび思うことは、国を挙げて災害防止のために予報、予知、さらには助告を含め、あらゆる研究と懸命の対策を講じるものの、自然の脅威は人間の知恵、科学を遙かに凌駕し、いかに人間の存在が小さいかを思い知らされる。

当町は、幸いに大きな地震、自然災害には遭っていない。しかし、これからも安全とは決して言えない。被災地の老人の「今まで生きて来て初めての経験」という声、「今回の地震は100年に1度」というニュース報道があったように、人知を超える自然の脅みがある以上、「災害は忘れた頃にやってくる」という今まで認識を変え、「災害はいつ、どこにでもやって来る」と覚悟して災害に備える必要性をつくづく感じている。

町としても、住民の生命、身体、財産を保護するため「防災計画」の整備を急いでいるが、大切なことは大きな地震、自然災害から身を、財産を守るには「自分で自分を守る」ことを心がけることだと思っているし、住民の皆様にも心がけて

- あなたの家屋の備えは万全ですか？
  - 非常時の防災グッズは揃っていますか？
  - 避難する所は決めていますか？
- もう1度点検し、家族と話し合ってみてください。



矢吹町長  
野崎 吉郎